

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL:055(254)8610・FAX:055(254)8614

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報誌です。

P2

【特集】

募金もひとつの福祉活動
あなたも「やさしさを」の輪に
参加しませんか？

P4 ▶ 県内団体紹介
山梨県共同募金会
みんなが幸せになれるよう、
赤い羽根共同募金運動を推進しています

P5 ▶ みんなの地域福祉(山梨県共同募金会 甲府市支会)
市内4大学の
ボランティアサークルとの
コラボで、広報活動を展開!

地域を支える(山梨ともしび基金)
民間福祉団体の活動を、
幅広く支援!

P6 ▶ 介護講座教室(平成24年度後期介護講座)

P8 ▶ いきいきライフ

P10 ▶ ボランティアトーク(アユザワダンススクール)

P11 ▶ 福祉施設訪問(勝沼授産園)

P12 ▶ 福祉人材センターニュース(福祉の学校紹介)

P14 ▶ 福祉用具紹介



募金もひとつの福祉活動

あなたも
「やさしさ」の輪に
参加しませんか？

赤い羽根共同募金の目的は、
地域福祉の推進

～あなたの身近なところでも、
誰かを幸せにするお手伝いをしています～

社会福祉法人 山梨県共同募金会

社会の複雑化に伴い課題やニーズが多様化するなか、福祉にも、それぞれの課題の背景にあるものを探り、改善していくことが求められるようになっていきます。例えば、高齢者や幼児の虐待、育児放棄、独居老人など、表面的には異なる様相を見せている課題も、その背景にあるのはコミュニティの崩壊。地域社会が再生されれば、とすれば制度の狭間で見落とされがちな人にも目が行くようになるとともに、そうした人達も社会に参加する機会を得ることができるわけですから、多くの課題が改善されます。こうしたことから、共同募金会では、地域住民の連携や連帯感を深めるためのさまざまな地域活動にも積極的に助成を行い、コミュニティの再生を応援しています。

また現在、既存の福祉団体では対応しきれない部分に対応していこうという新たな団体や、草の根運動的な展開をしているサークル、あるいは、それぞれが培ってきたスキルを社会のために活かしたいと考えるシルバー世代など、さまざまな動きが起きています。こうした新たなボランティア団体やNPO法人なども積極的に応援していこう、さらには、そうした活動を掘り起こし、支援し、育てていこうということで、平成20年度より新たに「虹の架け橋推進事業」にも取り組んでいます。

赤い羽根共同募金は、地域福祉の推進を最大の目的としており、県内でお寄せいただいた募金のほとんどは、あなたの身近な地域を良くするため、あなたの身近な人々を幸せにするために使われます。ぜひご協力ください。



今年も10月1日から
“赤い羽根共同募金運動”が
全国一斉に開催されます。

ご協力を心からお願いします。



募金の流れ 皆さまからの募金は、次のような流れで支援を必要としている施設や団体に届けられ役立てられています



“One for all, all for one” の精神を伝え、グラウンドを学校への懸け橋に！

かえでラグビースクール 代表者 望月 大和さん

不登校だったり、身体が不自由だったり、虐待や貧困など家庭環境に問題を抱えていたりする子どもを含め、子ども達に金銭的な負担なくスポーツに親しむ機会をと、コーチはボランティア、運営費は活動に賛同する方々からの賛助金によって賄う形で、2008年2月から活動を始めました。赤い羽根共同募金の助成のおかげで、ボールやヘッドギア、マウスピースといった用具をひとつおとり揃えることができ、本当に感謝しています。今では80人を超える子ども達が目を輝かせながらボールを追いかけ、仲間と楽しく過ごしています。また、スクールでの活躍で自信を得て、学校へ戻ることでできた子もいます。これからも、一人でも多くの子どもに笑顔が戻るよう、活動を続けて行きたいですね。

かけがえのないパートナー＝盲導犬への理解を広げ、よりボードレスな社会へ

山梨県ハーネス友の会 会長 名取 進さん

視覚障がい者の自立へのパートナーとなる盲導犬ですが、世の中が受け入れてくれなければ活躍できません。盲導犬は、多くの支援と協力によって存在しています。その善意に報いるためにも、より多くの方々に真の盲導犬の姿を知って頂き、受け入れて頂きたくて、啓発と普及の草の根運動を続けてきました。赤い羽根共同募金の助成金で、そうした際に掲示するパネルや配布するチラシなどを作ることができ、大変ありがたく思っています。

毎年多くの学校や各種団体などから講演や福祉授業を依頼されるようになり、街なかで声を掛けられることも増えて、周知の広がりを感じています。盲導犬はもちろん、すべての障がい者がごく当たり前の存在として受け入れられるノーマライゼーションの実現を目指し、これからもがんばります。



Q 社会福祉やボランティア活動のために寄附をしたいのですが、税制面での優遇措置はありますか？

A 地方自治体や共同募金会、日本赤十字社に対する寄附金については、従来から所得税の控除対象でしたが、平成23年度の税制改正により県知事が指定した法人(社会福祉法人、認定NPO法人等)に寄附した場合、寄附者の県民税・市町村民税の一定額が控除されることになりました。

基本控除額 = (寄附金^{※1} - 2千円) × 10%^{※2}

※1:総所得金額等の30%を限度
 ※2:条例で指定する寄附金の場合は、県4%、市町村6% (山梨県内は全市町村で条例化済みです)

詳しくは、山梨県HP『個人県民税の寄附金税額控除について』をご覧ください。

■ホームページアドレス: <http://www.pref.yamanashi.jp/zeimu/kihukinzeigakukoujo.html>

みんなが幸せになれるよう、
赤い羽根共同募金運動を
推進しています

今や季節の風物詩とも言える赤い羽根共同募金。10月1日を前に、運動の担い手である山梨県共同募金会を訪ね、組織や助成金、支援活動のことなどをお聞きしました。

赤い羽根共同募金とは、どのような運動ですか？

昭和22年にスタートし、民間からお金を集めて戦争で壊滅状態にあった社会福祉施設を再建し、戦争で家や家族を失った子どもやお年寄り、負傷して働けない人などを救済することを目的としていましたが、時代の変遷とともに目的も変化し、今は地域の福祉の推進のためにみんなで寄付金を集め、助成することを目的としています。

山梨県共同募金会は、どのような役割を担っているのですか？

山梨県共同募金会は県内での募金活動や、皆さまからお寄せいただいた募金を管理し、それを配分する業務を担当しており、市町村ごとに、募金活動の実施や、助成申請の取りまとめを担う支会や分会を設置しています。

また共同募金会では、毎年春先に助成申請を受け付けていますが、これによって共同募金に対する要望を把握します。申請された内容を精査し、目標額を設定した上で募金活動を行っています。そうした活動を通し、福祉活動の担い手の発掘・育成を行い、次の世代へとつなげていくということも大切な役割なのです。

お寄せいただいた募金は、どのようなことに使われていますか？

県内でお寄せいただいた募金のほとんどは、県内の福祉を推進するために使われています。具体的には、県内の社会福祉施設や各地区にある社会福祉協議会、民間の社会福祉団体、NPO法人やボランティア団体、学校での福祉活動などに助成金を配分しています。

具体的には、どのような活動が助成対象になるのですか？

障がい者のためにイベントを開催するとか、盲導犬の育成をしたという直接的な福祉活動はもちろんですが、最近では、福祉をもっと広義にとらえ、老人と子どもが一緒になって遊ぶ機会を設けるというような活動や配食サービス、日常的なサークル活動なども積極的に支援しています。福祉の基本はノーマライゼーション、すなわち、障がいのある人も、ない人も、一切の区別なく社会生活を送るということにありますから、そうした方々も取り込んでの何らかの活動によって、誰もが幸せになっていけるということが大切なんです。そして、そういう活動に助成金を交付することによって支えることが、共同募金の役割の一つだと考えています。

昨年の東日本大震災など、災害時にはどのような支援をされていますか？

共同募金会では、3つの支援を行っています。1つは、災害発生後速やかに、被災地の災害ボランティアセンターを設置し、活動を始めるための費用にあてるため、毎年、共同募金の一部を災害等準備金として備えています。2つ目は、被災地の方へ直接お届けする義援金。これは災害発生後に募金を集め、生活再建のために役立てていただきます。そして3つ目は、災害ボランティアNPO活動サポート募金。被災地でのボランティア活動を行う団体に対し、活動費用の一部を支援するという目的のために共同募金とは別に募るもので、今回の東日本大震災で新設されました。



**災害ボランティアNPO活動サポート募金
を利用し、ボランティアバスを運行**

(中央市社会福祉協議会)

中央市社会福祉協議会では、東日本大震災の被災地支援の一環として、昨年の6月末から8月に掛けて計11回、ボランティアバスを運行しました。延べ250名の参加者のなかには、「テレビで被災地の状況を見て何かしなければと思ったが、一人で行く勇気はなかったし、手段も見当たらなかった」という東京の方や、「市の社会福祉協議会が連れて行ってくれるのなら安心」と、ご両親が送り出した高校生もいました。共同募金会よりご支援いただけたおかげで参加費用を抑えることができ、より多くの方にご参加いただけたものと感謝しています。



甲府市内にある山梨大学、英和大学、山梨学院大学、山梨県立大学のボランティアサークルは、例年、街頭募金や学園祭での募金活動を行い、赤い羽根共同募金に多大なる協力をしてきています。甲府市内での募金活動と助成活動を担当している山梨県共同募金会甲府市支会では、活動の担い手である大学生の新鮮な意見を広報活動に活かしていこうと、これら4大学のボランティアサークルとの連携・協働によるプロジェクトを立ち上げました。各大学2名の代表者によって構成された委員会は、彼らの福祉に対する意識の高さを反映するかのように、毎回活発な意見が交わされる活気あるものとなり、参加した支会職員も刺激を受けたそうです。

市内4大学のボランティアサークルとの コラボで、**広報活動を展開！**

この委員会によって作成された「共同募金運動広報啓発用パネル」は、共同募金をさまざまな形で集めるところから、いろいろな福祉施設やボランティア団体に配分するまでの一連の流れを、わかりやすく、親しみやすいビジュアルを用いて表現したもので、大学生ならではの感覚が随所に活かされています。本年度の募金活動から活用していく予定ですので、ぜひお楽しみに。

甲府市支会では、今回の成功を踏まえ、今後もさまざまな形で学生やボランティア団体とのコラボを考えていきたいと話しています。



山梨ともしび基金

地域を **支** える

民間福祉団体の活動を、幅広く支援！

県内の民間福祉団体の事業活動を支援する「山梨ともしび基金」では、「障がい者対応の店舗を掲載した案内マップを作りたい」、「子供用福祉用具機器展を開催したい」、「車イスやアイマスクの擬似体験による実態調査をしたい」、「障がい者の外出機会を増やすため、スポーツ交流会を開催したい」、「認知症の理解促進につながる講演会を開催したい」、「盲導犬の普及啓発を行いたい」、「ボランティア情報を広く周知するため、広報誌を発行したい」といったさまざまな活動に対し、資金の一部を助成しています。

山梨ともしび基金は、県民の皆様からの善意の寄付金によって設立され、運営されています。皆様からのご寄付も随時受け付けておりますので、本県の民間福祉活動の振興のため、多くの方のご理解とご協力をお願いします。支援を希望される場合は、本会ホームページ (<http://www.y-fukushi.or.jp/index.html>)、お知らせボード「山梨ともしび基金助成事業について」に助成金申込方法等を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

■お問い合わせ先…山梨県社会福祉協議会 福祉振興課
活動支援担当 ☎055-254-8610



アイマスク体験をし、街中を調査中

様々な方が、講座に参加されています。

本年度、前期介護講座に参加された方々より、たくさんのご感想が寄せられました。

参加者の声

入門介護講座

高齢者に対し、自分自身の感覚で見えてしまいがちになっていたため、実際に疑似体験を行うことで高齢者の状態や日常生活の中で、どのような場面にて不自由さを感じているのかが少しわかり、高齢者の方々の状態を知ることができ、良い機会となりました。また、この経験をこれから活かしていきたいと思えます。



自立を促すリハビリテーション

年間を通じて、さまざまな介護講座を無料で開講している県立介護実習普及センターでは、後期の受講者を募集しています。お気軽にご参加ください。

入門介護講座（高齢者疑似体験）

高齢者疑似体験セット《うらしま太郎》を使って、高齢者の身体の変化を体験します。お年寄りと接する機会のある方や、ご家族が高齢になってきている方には、ぜひ受講していただきたい講座です。

テーマ別介護講座

テーマに沿って、専門性の高い知識や技術を学ぶことができます。

●介護を支える保健医療福祉サービス

介護保険をはじめとする在宅での生活を支える制度や、市町村で行われている福祉サービスを利用するには、申請が必要です。この講座では、どのような制度やサービスがあるのか、どこへ申請をすればよいのかなど、制度やサービスを利用するための具体的な方法を学びます。また、在宅訪問を担当している医師から、在宅看護にお



お年寄りの食事のお世話

テーマ別介護講座

【口の中の健康管理】

1日を通して、映像などで説明をしていただき、講座の内容が分かりやすく参考になりました。口の中の健康では、あらためて歯の大切さ、歯周病の恐ろしさを認識することが出来ました。また、飲み込みに障がいのある方のお世話では、噛むことの大切さ、歯磨きの大切さを学ぶことができました。

【お年寄りの食事のお世話】

食べる人のことを考え、その人に合ったバランス・カロリー・食べやすい工夫など、1つの料理に対しての工夫など、大変参考になりました。介護食というと、トロミ食のイメージが強くありましたが、この講座を通しトロミ食以外の料理、またトロミを使った工夫の仕方を学ばせていただきました。

ける症状の観察方法や注意点などについても学びます。

●お年寄りの食事のお世話

実習を通して学ぶ、3日間のプログラムです。スタッフがフォローしますので、調理に自信のない方も安心してご参加ください。若い方、男性の参加也大歓迎です。

●1日目：お年寄りに優しい調理

栄養状態のバランスを良くするには、どのようなことを意識すればよいのか。お年寄りの栄養状態の特徴を踏まえて、材料の選び方から、下処理、素材の活かし方など、幅広く学びます。

●2日目：栄養を補う副菜の調理

主菜・4種類の副菜・デザートを作り、バイキング形式で試食しながら、副菜の選び方について学びます。

●3日目：飲み込みの障害に合わせた調理

加齢により、食事や飲み物を上手に飲み込むことができない方が出てきます。飲み込みの障害を軽視して普段の食事を続けていると、誤飲を引き起こすなど大変危険です。安全に食事を楽しんでいたメニューや調理法を学びます。

介護ボランティア養成講座

貴重な体験をありがとうございました。ボランティア活動の苦労や車いすでの体験は思ったよりも「すごかった」という印象です。それでも、「自分の経験や能力を活かせるのもボランティア」というお話は、自分自身のためにもなりました。そういう意味ではほんの少しだけですが理解する事ができたかもしれません。こんな思いをできる事は、なかなかないと思います。この講座を他の方にも奨めていきたいと思ひます。



介護ボランティア養成講座



お年寄りの排泄の問題とそのお世話



フットケア(マッサージの仕方)

介護保険の仕組みとサービス

「保険」というと正直、それだけで尻込みしてしまうのが正直なところでした。ですが丁寧に分かりやすく仕組みや制度のお話をお聞きしたことで理解が深まりました。勉強になったのと同時に介護保険料が年々上がる中、それにもましてお金がかかるのには、驚きました。

今年の4月からの改定に伴い、サービスを提供するにあたり、利用者から質問された時に、答えられないのは困ると思ひ、しっかりと知識をもって答えられるために、今回の講座を依頼しました。変更点だけでなく介護保険の説明、「例えば」という話などがありとても理解しやすかったです。

認知症サポーター養成講座

自分の母が脳梗塞で倒れ入院したことをきっかけに参加しました。認知症の事を理解していなかった自分を反省すると共に世間の認識もやはり自分と同様と感じました。自分も物忘れをする時があり、不安となりますが、このサポーターの存在が自分の助けになることを知り、自分も周りのために知識を得ようと思ひます。認知症を正しく理解すれば不安や恐怖心がやわらいでいく気がします。

身近に認知症者がいるのですが良く分からない事が多く、適切に相手が出来ているか不安になることが沢山あります。分かっているみたいなのに「アレ？」と思ひることがあり、どうとらえたらよいか悩んだこともありました。「しょうがない」と思ひて気分的に受け入れられない歯がゆさを持っていましたが、今回の講座で、今までのことを思ひ出しながらお話を聞くことが出来、理解が深まりました。

※1日単位での受講も可能です。参加できなかった日の資料やレシピもお渡しできます。(材料費として1日500円の自己負担あり。定員各20名)

●終末期のお世話【後期のみ開催】

「住み慣れた我が家で、家族に囲まれながら最期を迎えたい」。ご家族の望みを叶えるには、事前の準備が必要です。どのようなサービスがどこまで使えるのか、心構えは? など、在宅療養を支えている経験豊かな講師(緩和ケア認定看護師)から、終末期について学びます。

士から、認知症の方への対応法を学びます。2日目には、『認知症の人と家族の会』山梨県支部の方から体験談を聞いたり、家族の会の方をアドバイザーとしてグループ討議をしたりします。

県立介護実習普及センターでは、職員が出向出張講座も行っています。内容は、『団体入門介護講座』『介護保険の仕組みとサービス』『認知症サポーター養成講座』です。地域の集まりや団体活動に、ぜひご活用ください。

介護講座カレンダー(平成24年度後期)

講座	開催時間	9月	10月	11月	12月
入門介護講座	9:30~12:00				
	13:30~16:00	28(金)	2(火)		
介護を支える保健医療福祉サービス	10:00~14:30	4(火)			
口の中の健康管理	10:00~15:00	6(木)			
自立を促すリハビリテーション	10:00~16:00		4(木)		
お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応	10:00~16:00	20(木)			
寝具・衣類のお世話と床ずれ予防	10:00~16:00		5(金)		
清潔のお世話:入浴・部分浴	10:00~16:00		10(水)		
清潔のお世話:洗髪・清拭	10:00~16:00		11(木)		
お年寄りの排泄の問題とそのお世話	10:00~16:00	19(水)			
		11(火)			
お年寄りの食事のお世話	9:00~14:00	12(水)			
		25(火)			
終末期のお世話	13:30~15:30		24(水)		
フットケア	13:30~16:30		23(火)		
認知症介護講座(2日間)	13:30~16:40			27(火)	7(金)
介護ボランティア養成講座(2日間)	9:30~16:00			6(火)	7(水)
		10:00~12:00	7(金)		
認知症サポーター養成講座	13:30~15:30			9(火)	

各講座には定員がありますので、お申し込みの際に確認してください。

■お問い合わせは…山梨県立介護実習普及センター

☎055-254-8680 FAX 055-254-8690まで

介護ボランティア養成講座

2日間のプログラムです。体の動かし方や車いすの扱い方、ボランティアができることとできないことなど、高齢者や障がい者の支援をするなかで、ぜひ知っておきたい情報が満載です。

認知症介護講座

2日間のプログラムです。1日目は、現場で活躍している医師や介護福祉

県社会福祉協議会は、6月7日から11日までの5日間、
「いきいき山梨ねんりんピック2012山梨県シルバー
作品展・シルバー俳句大会」を甲府・山交百貨店5階催
事場で開催しました。



日本画「春の詩」
坂本 静江 (75歳)



日本画「異国仏」
和智 紀子 (84歳)



工芸「卵殻モザイク画 牡丹」
中込 はつ江 (85歳)



洋画「芦川の朝」
土屋 重男 (83歳)



洋画「野露句(ノロック) - 8月のある日 -」
服部 町子 (66歳)



工芸「花瓶」
加久保 恵美子 (70歳)



彫刻「少年」
赤池 辰彦 (71歳)



彫刻「能面 小面」
木下 政明 (74歳)



写真「里の春」
花輪 和人 (74歳)



写真「パール富士」
天野七六 (73歳)



書「心静」
齋藤 礼 (84歳)



書「画竹」
勝俣 勝代 (71歳)

各部門の優秀賞
【各部門2点、計12点】

山梨県シルバー作品展
優秀作品

(敬称略、年齢は平成25年4月1日現在の満年齢)

シルバー俳句大会
特選句

(年齢は平成24年6月7日現在の満年齢)

南 俊郎 選

春寒や呆けし母の子守唄

富士吉田市 小野ウタ子 七六歳

流し雛浅瀬にのりて空仰ぐ

市川三郷町 佐野 正文 七六歳

新築の玄関無惨春の泥

富士吉田市 石橋 幸子 七一歳

啓蟄や渋谷駅よりどっと人

甲斐市 土井よし子 八〇歳

紫木蓮炎となりて風つかむ

甲府市 赤澤義太良 七八歳

渡辺 柳風 選

迷いつつ五年続きの日記買ふ

富士川町 深沢多み子 七五歳

夕告げの曲は「故郷」日脚伸ぶ

身延町 古屋 改造 八九歳

十年を綴る覚悟の初日記

都留市 渡辺 信子 六四歳

「希望」の碑残し閉校天高し

西桂町 加藤美三子 八五歳

試歩近き母の手編の春シヨール

甲府市 米山 正雄 八七歳

上田正久日 選

川に添う村の暮らしや山笑う

北杜市 松林 新一 八一歳

遠足の子らの向うに山笑う

南アルプス市 興石 半次 七〇歳

貧しくも七種粥に足る心

甲府市 鈴見 みつ 九三歳

恙なく美しく生きたし冬銀河

身延町 佐野 利孝 八五歳

梅咲いて傘寿の一步踏み出せり

甲斐市 鷹野 直 八〇歳

シルバー俳句大会作品紹介
山梨県シルバー作品展・

いきいき
ライフ

いきいき山梨ねんりんピック2012

同時に開催した「シルバー俳句大会」には、県内60歳以上の565人から1,117句の作品が集まり、審査会を5月11日に3人の選者(南俊郎さん、渡辺柳風さん、上田正久日さん)によって行われ、特選15句・秀作30句・佳作45句が決定いたしました。

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に、257点の作品が集まりました。

各部門で優秀賞に選ばれた作品は、10月に開催される「ねんりんピック宮城・仙台2012」の美術展に県代表作品として出品させていただきます。



華麗なダンスが 鮮やかに彩る 充実の人生

アユザワダンススクール

あゆざわ たけし
経営・指導 鮎澤 武さん

20代
前半

甲府の繁華街で社交ダンスを見かけ、ダンス教授所へ通うようになる。

30歳

職場で知り合った奥様との結婚を機に、ダンスを封印。

50歳
頃

子育てがひと段落した奥様と、再びダンスを始める。

60歳

退職。自宅の横にダンススタジオを作り、アユザワダンススクールを開校。

75歳
(現在)

週5回のダンス教室を続けながら、ことぶきマスターとして奥様やお弟子さんと共にボランティア活動にもいそしむ日々。

甲府市の高齢者福祉施設での社交ダンス教室。講師の鮎澤武さんによる、ユーモアを交えながらのダンスの説明に、多くのお年寄りが耳を傾けています。と、流れて来たのは、耳慣れた歌謡曲のメロディ。奥様との華麗なダンスが始まると、お年寄りの表情もイキイキと輝き始めました。

鮎澤さんと社交ダンスとの出会いは、50年以上も前。「偶然覗いたダンス教授所で、生れて初めて男女が一組になって踊っているのを見ましてね、楽しそうだなあと。それで、自分も習うことにしたんです。最初はワルツ、それから、タンゴ、ジルバと、ひとつひとつ覚えていきました。楽しかったですね。ダンスはとても奥が深くて、一つ踊れるようになると、次はもっと難しいものに挑戦したくなるものなんです。その頃は独身でしたし、他にこれといった趣味もありませんでしたから、すっからはまって、20代はダンス三昧でしたね」。30歳で結婚。それを機にダンスから遠ざかった鮎澤さんでしたが、40代後半には再びダンスの世界へ。「家内がやりたいというもので、一緒に始めたんですよ。夫婦で同じ趣味を持つのも、いいものですよ」。

退職後は、自宅の横に念願のダンススタジオを作り、アユザワダンススクールを開校。以来、田舎の社交場として、多くの方々にダンスの楽しさを伝えるとともに、ことぶきマスターとして、ボランティア活動にも積極的に取り組んできました。「優雅に見える社交ダンスですが、運動量はかなりのものがあります。最近はずいぶん若い頃のようなわけにはいきませんが、それでもこれだけ動けるのはダンスを続けて来たおかげ。それに、この年になっても、多くの出会いがあり、若い方々とも交流が楽しめるのも、やっぱりダンスがあるからなんです。ダンスをやってきてよかったと、心から思いますね」と、しみじみ話す鮎澤さん。ピンと伸ばした背筋、颯爽とした身のこなし。青年のように若々しい鮎澤さんの口から出た、「我がダンス人生に悔いなし」の言葉が、心にスーッと沁み入りました。



奥様と組んで、華麗なダンスを披露



音楽に合わせて体を動かすのは楽しいと、鮎澤さんのダンス教室はお年寄りにも大好評

歳をとっても社会参加ができる 障害福祉施設として支援していきたい。



社会福祉法人 ぶどうの里 勝沼授産園

勝沼授産園は、今から19年前に甲州市勝沼町のぶどう畑の中に小さな心身障害者通所授産施設として開設されました。授産施設とは障がい者が就労の場を得て労働を伴いながら通所する施設です。したがって様々な場を提供しています。リサイクル活動、農産物の加工品販売、音楽療法などの療法支援、バイオ燃料の製造販売、海外支援など多岐に渡ります。

まずリサイクル活動として、全国から不要な衣類、日用品などを寄付してもらい、分別後にバザー販売しています。農産物の加工品販売では、地場の果物を使ったジャム作りを行ったりしています。療法では、音楽の持つ力を生かした“音楽療法”や土に親しみ野菜や花を育てる“園芸療法”といった、その人にあった治療を取り入れています。バイオ燃料の製造販売では、甲州市内の給食センターなどから廃食油を回収し生成しています。東日本大震災ではこのバイオ燃料1000リットルを持って、被災地の支援に行ってきました。海外支援では、アジアの子どもたちへ衣類などを送る活動を行っています。回収した使用済み切手、ベルマークなど、海外への配送料として活用しています。特にベルマークは今年300万点を達成し表彰されました。その他施設外活動して「グループ就労」や「リサイクルショップキューブ」の運営など、幅広い取り組みをしています。これらの活動、就労で得られた売上金は、必要経費を差し引き、利用者の工賃（給与）として支払われています。また、毎年6名ほどの方が一般就労を実現されています。

最後に施設長の山崎俊二さんは言います「利用者の幸福を尊重しながら障がいの軽減・改善。またいつまでも社会参加ができる豊かな福祉施設として支援していきたい。すべての人の幸せづくりのために、どうぞお力をお貸しください」と。



施設概要	
施設名	社会福祉法人 ぶどうの里 勝沼授産園
住所	〒409-1303 甲州市勝沼町小佐手633-1
電話	0553-44-2903
FAX	0553-44-2904
URL	http://www.budounosato.org
設立	平成5年4月1日
敷地面積	744㎡
延床面積	367.7㎡
建物構造	鉄骨造スレート葺き 平屋建て
定員	31名(生活介護10名、就労継続A型15名、就労移行支援6名)
関連施設	リサイクルショップ CuBe(キューブ)

~ちょっと寄り道~



定休日：毎週水曜日
祝日・年末年始
営業時間：AM11:00~PM3:30

リサイクルショップ CuBe(キューブ)

リサイクルショップ キューブは、山梨市歌田の国道411号線沿いにある、社会福祉法人ぶどうの里が運営するリサイクルショップです。

販売商品は、地域の皆様などの善意により寄付された品物が中心で、障がい者スタッフがメインになり販売を行います。

販売商品は、メンズ、レディース、子ども服などの衣料商品や日用雑貨です。「リサイクル品」がメインですが、なかには新品もあり、掘り出し物もいっぱいあります。

ショップでは、「衣料商品なんでも

200円!」と通常営業も超お得ですが、毎月月末には何と…「キューブジョイフルデイ」としてさらに全品半額になります。

また、リサイクル商品以外にも手づくりのジャムやクッキーも取りそろえております。是非お立ち寄り下さい。



帝京福祉専門学校

あなたのケアが、みんなの幸せをつくる

所在地：〒405-0018 山梨県山梨市上神内川36-1 TEL：0553-22-6776 FAX：0553-22-7757
ホームページアドレス：<http://www.teikyo-mwc.ac.jp/> 定員：80名

卒業後の主な進路：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障がい者支援施設、デイサービスセンター、
認知症グループホーム、訪問介護事業所、社会福祉協議会、県内外4年制福祉系大学
取得できる資格：介護福祉士 (3年次に編入しています)

学校PR



1期生学生会長
甘利さん



24期生学生会長
山田さん



本校は25年目を迎え、介護福祉士養成校として全国でも歴史のある専門学校です。1636名の卒業生が山梨県内外で活躍しています。現在、超高齢化の中、ますます介護人材が必要とされ、介護福祉士は質の高さも求められています。本校では教育目標に知識や技術そして相手の痛み、苦しみに共感できる、理論に基づく介護福祉実践ができる、感謝の心を態度で表現できる学生の育成を目標におき、社会のニーズに対応しているところです。

では、本校の特色について、本校1期生の甘利学生会長（現在、山梨県介護福祉士会会長・同窓会会長）と24期生の山田学生会長の対談を通して、紹介します。

山田さん：学校はどんな雰囲気でしたでしょうか？

甘利さん：現役の入学生ばかりでなく、過年度生もクラスにおり、世話役ができたり、みんなが互いに協力して助け合ったりと周りのクラスメイトや先生方からいつも温かさを感じていました。

山田さん：私も同じことを感じています。学園祭や球技大会は1期生から続いているものですが、学生は自分のことばかりでなく、まず相手のことを考えて行動しています。そんな場面を見ると、伝統が引き継がれているのだと感じます。

山田さん：本校で学んだこと、学んでよかったと思うことはなんですか？

甘利さん：学んだことは、利用者が何を考え、何をしてほしいか、相手の気持ちを汲み取ることです。確かに技術や方法を知っていれば、入浴や食事の介護は業務としては成り立つでしょう。しかし、効率ばかりに目がいくと、相手の立場に立った介護ができなくなります。この基本的な考え方を先生方から教えていただきました。まず、相手の立場で考えてみる、その重要性を先生方の経験を通して教えていただき、理解しやすかったです。

山田さん：甘利先輩と同じ先生方に現在も教えていただいています。体験談も併せて話をしてくださいませので、イメージしやすいですね。また授業の中では車いすで電車に乗る体験やアイマスクをつけて地域を歩いてみる勉強もしています。それは利用者の気持ちを理解することにつながることでできています。その折、地域の方々の温かさに触れることもしばしばです。

山田さん：最後に母校について、感想を聞かせてください。

甘利さん：卒業以来、同窓会長として入学式、卒業式等で祝辞を述べさせていただき、その時感じることは、学生の笑顔と一人ひとりの輝きが時代を超えて引き継がれていることです。笑顔の質が全く変わりません。

私自身は母校に立ち寄るたびに、我が家に帰ってきたようにいつもほっとできます。

山田さん：とても貴重なお話をありがとうございました。勉強だけでなく、今まで引き継がれてきた伝統を、自分たちもしっかり後輩に伝えていきたいと思います。

身延山大学仏教学部福祉学科

福祉学コース
こども学コース

他人のことを親身になって考えられる、思いやりの心を育む

問合せ先: 〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延3567「入試事務室」

TEL: 0556-62-3700 FAX: 0556-62-0727 e-mail: nyuushi@min.ac.jp

ホームページアドレス: <http://www.min.ac.jp/> 定員: 福祉学科 (20名)

主な進路先: 乳児院、児童養護施設、保育所、障がい者施設、老人ホーム、デイサービス等 (平成23年度実績は100%)

取得出来る資格: 社会福祉士国家試験受験資格・介護福祉士国家試験受験資格・保育士・高等学校教諭一種免許 (福祉)・博物館学芸員・社会教育主事・社会福祉主事・児童指導員・児童福祉司・身体障害者福祉司・知的障害者福祉司・生活指導員

学校
PR

「将来、自分が活躍したいフィールドにあわせた資格取得ができる」

「福祉学コース」と「こども学コース」の2つのコースがあり、どちらも社会福祉士国家試験受験資格をめざすことができます。また、福祉の原点でもある仏教をベースにした特色ある教育によって、時代が求めている「気配り」「目配り」「心配り」のできる豊かな人間性と心を実践的な知識や技術とともに兼ね備える専門家を育てています。

「福祉学コース」

豊富な実習を通じて、福祉の専門家として必要な知識と技術を身につけるとともに、他人のことを自分のこととして思いやれる心を育てていきます。

「福祉学コース」は社会福祉士と介護福祉士国家試験の受験資格を取得できます。また、現場で求められる知識と技術を体験的に学び、障がいのある人が障がいのない人と同じような生活が送れる社会を実現する福祉の専門家を育てます。心の問題や死について真摯に考える講義を通じて、介護の現場に携わる人としての基本的な姿勢も培います。

「こども学コース」

保育や児童福祉とともに、社会福祉の知識や技術も体験しながら学び、これからの時代の保育に携わる人間として必要な姿勢を養います。

保育士と同時に社会福祉士国家試験の受験資格を取得できます。また、保育や児童福祉とともに社会福祉の知識や技術をバランスよく学び、児童虐待や子育て支援など現代社会の子どもの問題にも幅広く対応できる児童の専門家を育てています。学外での5回の保育所や施設での実習をはじめ、学内でも体験的に学ぶ実習が数多くあります。

POINT1	平成23年度の社会福祉士国家試験の全国平均の合格率は28.1%。難関の社会福祉士の国家試験に2年連続で先輩が合格。国家試験に向けた課外講座も受講できます。
POINT2	4年間かけてじっくり学ぶから、就職活動も就職後も安心です。
POINT3	徹底した少人数教育だからこそ、自分のペースで学べます。
POINT4	奨学金制度の充実。返済義務のない奨学金が多数あります。
POINT5	費用がかからない留学。韓国、金剛大学校に留学！ 留学にかかる費用は必要ありません。
POINT6	無料スクールバス・学生駐車場の完備

児童養護施設で、学んだ福祉の視点を活かしていきたい

保育士とともに社会福祉士の受験資格も取得しようと福祉学科へ進学しました。3年生の夏休みに「社会福祉援助技術実習」を体験。現場の人たちの話を聞いたり、子どもたちに寄り添って働く姿を見るうちに、児童養護施設への関心が深まってきました。卒業後は、さまざまな視点から子どもたちの心理的なケアができればと思っています。



勝村 比呂美
福祉学科 こども学コース4年
甲府城西高等学校出身



家具調ポータブルトイレ

ベッドから離れることができ、座位を保つこともできるけれど、トイレに行くのは難しいという方の介護にお勧めなのが、ポータブルトイレ。いろいろなタイプがありますので、状況に合わせて最適なものを選びましょう。

あると便利なグッズたち

oods

福祉用具
紹介

3

今回ご紹介する家具調ポータブルトイレは、ごく普通のイスのように見えるので、お部屋に置いても、違和感がないのが最大の魅力。どっしりと安定感があるため、体格の良い方にも安心してご利用いただけます。ぐらつかない、臭わないなど、機能性にも優れています。

家具調トイレ<座楽>

1. シャワポットLS-H

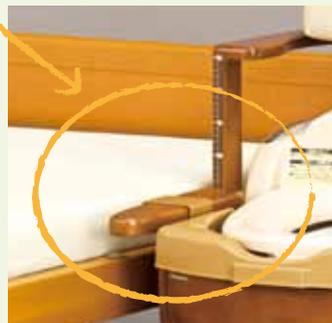
価格：144,900円(税込)

ひじかけをベッドの高さまで下げることができ、楽に安全にベッドから移乗できます。また、いつでも清潔に保てる「温水シャワー」&「温風乾燥」、たっぷりの泡で臭いを閉じ込める泡ガードと、強力なファンで臭いを吸引する「ツイン脱臭」、座ったときにヒヤッとすする不快感がない「暖房便座」など、機能も充実。見やすく使いやすい大型リモコンで、操作も簡単です。

左右どちらのひじかけにも取り付け可能なペーパーホルダー



左右のひじかけの高さ調節が、無段階で調節できます。(LS-Hの場合0~22cmの間)



10月1日は「福祉用具の日」

車いすや介護用ベッドなどの「福祉用具」、また介護をする人たちの負担を軽減するための「生活用具」は、高齢者及び障がい者の日常生活や社会参加のうえで非常に大切なものです。しかし、一般には余り馴染みがないため、必要な状態になっても存在を知らなかったり、周囲を気にし、使うことをためらうなど、有効性が活かされていないケースがあります。

そこで、日本福祉用具供給協会は多くの人に福祉用具を知ってもらい、その必要性を理解してもらうために、10月1日を「福祉用具の日」とし、2002(平成14)年から全国一斉の普及・啓発キャンペーンを展開しています。

本県でも10月1日(月)、日本福祉用具供給協会の南関東支部山梨県ブロックによる介護用ベッドや車椅子など福祉用具に関する無料相談が開かれます。この機会に、お気軽にお越しください。

- 開催場所：県立介護実習普及センター介護機器展示室(福祉プラザ内)
- お問い合わせ：ヤマシタコーポレーション ☎055-227-6511

家具調トイレ

2. セレクトシリーズ

価格: 48,300~108,150円 (税込)

76機種にも及ぶラインナップを誇るセレクトシリーズ。座面の高さや幅はもちろん、便座(ソフト便座・暖房便座)、ひじかけ(はねあげ式・固定式)、脱臭機能などの組み合わせが、バリエーション豊富に揃っています。生活スタイルや身体状況にピッタリのものを選べるから、立位が不安定な方も安全に移乗できたり、布団からでも楽に便器に座ることができたりと、介護の負担も軽減されます。

76種類

高さ 2種類

×

幅 2種類

+

ひじかけ 2種類

×

便座 3種類

×

脱臭

ひじかけ(はねあげ)



はねあげ式ひじかけで移乗に便利。

ひじかけ(ノーマル)



ゆったり足を上げられる前方に支柱のないひじかけ形状。

はねあげ標準幅 Lタイプ Low



低い便座面の L(ロー)タイプ

- ・身長が低い方
- ・布団の方

ノーマルワイド幅 Hタイプ High



高い便座面の H(ハイ)タイプ

- ・立ち座りしやすい
- ・間接リウマチのつらい痛み
- ・ひざにやさしい

check

ポータブルトイレは、介護保険の特定福祉用具・特定介護予防福祉用具の対象となっており、利用状況に応じ、年間10万円を上限として購入費用の9割が支給(還付)されます。ただし、限度額のオーバー分は自己負担になりますのでご注意ください。

体験コーナー 開設中

今回ご紹介した福祉用具は山梨県立介護実習普及センター(山梨県福祉プラザ1階)展示室で実際に体験していただけます。

お気軽にお問い合わせください。

問い合わせは、

山梨県立介護実習普及センター

TEL 055-254-8680

FAX 055-254-8690

まで。



39th 老人と障害者の自立のための 国際福祉機器展 H.C.R.2012

Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2012

会期	2012年9月26日(水)~28日(金)
開場時間	10:00~17:00
会場	東京国際展示場 「東京ビッグサイト 東展示ホール」(東京・江東区有明)
入場料	無料・登録制(一部のプログラムは有料)
出展	15か国・1地域540社より 約20,000点の福祉機器を総合展示
WEBサイト	http://www.hcr.or.jp

H.C.R.2012事務局 | 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
(財)保健福祉広報協会 | Tel. 03-3580-3052 / Fax. 03-5512-9798

●開催内容(予定)

- 福祉機器約20,000点を総合展示
 - 国際シンポジウム「デンマークの税と社会保障(仮題)」を開催
【日時】2012年9月27(木)PM
【会場】東京ビッグサイト 会議棟6階「605-608会議室」
 - H.C.R.セミナー
福祉職から一般、福祉利用者、家族を対象に、保健・福祉・介護をテーマに3日間開催。
 - H.C.R.出展社プレゼンテーション
 - H.C.R.特別企画
 - はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー
「基本動作編」「自立支援編」「住宅改修編」を10のテーマに分類し、3日間開催。
 - 高齢者の生活支援用品コーナー 高齢者の生活を便利にするグッズなどを紹介。
 - コミュニケーション機器の使い方セミナー(仮題)
携帯電話など身近にあるテクノロジーの福祉的利用方法について解説・実演。
 - ふくしの相談コーナー 福祉機器・リハビリ・自助具の相談コーナーを設置。
 - 障害児のための「子ども広場」 子ども用福祉機器相談・療育相談も実施
 - 福祉機器開発最前線 研究・開発中の機器や新製品を紹介
 - 高齢者世帯向けの手軽な日々の食事
市販の弁当・惣菜も工夫次第で栄養バランスが取れた食事に、各日1回開催。
 - ふくしの防災・避難用品コーナー
 - 被災地応援コーナー
東日本大震災で被災した東北地方の障害者授産施設の製品を販売するコーナー。
- その他、多彩なプログラムを実施。
※プログラムは変更されることがあります。
最新情報と詳細はH.C.R.Web(<http://www.hcr.or.jp>)サイトでご確認ください。



この広報誌の作成費の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。

イベント・ご案内

第三者評価を受審しましょう

福祉事業経営者の皆様へ

福祉サービス第三者評価事業は、福祉事業者が提供するサービスの質について公正・中立な第三者機関が、専門的・客観的な立場から評価することにより、福祉サービス事業者にとっては、サービスの質の向上を図るきっかけとなり、利用者の方々にとっては、適切なサービスを選択する際の情報となる仕組みです。

県内では、昨年度末までに延べ36事業所が受審し、より充実した組織運営や福祉サービスの提供、組織体制の強化を図ることができました。

利用者や家族から信頼され、選ばれる福祉事業者になるための一つの手段として有効な「福祉サービス第三者評価」を受審しましょう。

第三者評価機関は県内に6ヵ所。詳細は本会ホームページ「山梨県福祉サ

ービス評価推進機構」をご覧ください。

- お問い合わせ先…
福祉振興課 経営支援担当
☎ 055-254-8610

介護支援専門員 再研修・更新研修のご案内

- 期 日…平成25年1月9日～
3月13日までの間に7日間
- 会 場…桃源文化会館(南アルプス市)
県立図書館(甲府市)
- 対象者…「再研修」は、有効期間満了日を経過した後に再び実務に従事する予定の方。
「更新研修」は、実務未経験の方が更新を行う場合に受講対象となります。

- お問い合わせ先…福祉人材研修課
☎ 055-254-9955

報告・ご寄附

善意をありがとう

生活物資(食料品等)の贈呈

JA共済連山梨(秋山正直本部長)様から県社会福祉協議会に対して生活物資(食料品等)を寄贈いただきました。

本会では、寄贈団体様の主旨を尊重し、有効に活用させていただくこととし、NPO法人フードバンク山梨に全て寄託をいたしました。ありがとうございました。



JA共済連山梨の秋山正直本部長(右)から目録を受け取る県社協の窪田守忠常務理事(左)

DVD 紹介

『認知症の人と一緒に生きる』

- 企画・編集：服部安子氏(社会福祉法人浴風会ケアスクール校長)
- 制作・発行：社会福祉法人浴風会ケアスクール 東京都杉並区高井戸1-12-1 ☎03-3334-2149
- 販売：中央法規出版株式会社 ■価格：9,000円(税別) 2008年9月30日発売

認知症の患者が増えている中で、色々な思いや場面で生活をし、悩みを抱え込んでいるの方々が多いのが現状かと思えます。また認知症の患者は、個々によって症状等が異なります。

このDVDでは、どの様に本人やその家族が住み慣れた自宅や地域で楽しく・安心して日常生活を送れるか、地域(周囲)の人達や介護従事者が連携・協力を行うと共に、どの様な対応をして行けば良いのかを、学ぶことができます。また『認知症』の特徴、心理症状、対応やケアの行い方、接し方などや福祉施設の従事者の意識改革の方法なども紹介しています。

この他、介護・看護・福祉についての本268冊、ビデオ・DVD188本の貸し出しをしています。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。☎055-254-8680



ソウェルクラブ

福利厚生センター

ご加入のおすすめ

ソウェルクラブ(福利厚生センター)は、「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に厚生労働大臣から指定された唯一の法人です。会員数約22万人のスケールメリットを活かして40種類以上の福利厚生サービスを提供しています。

本県では、山梨県社会福祉協議会が地方事務局(業務受託団体)となり、地域に密着した事業を行っています。

新規会員募集中!
会員数 223,000人

サービスの一例

- 団体生命損害保険 ● 結婚・出産・入学お祝品贈呈 ● 弔慰金・見舞金 ● 電話健康相談
- スポーツクラブ ● 生活習慣病予防健診費用助成 ● 指定保養所・会員制リゾート施設割引
- 会員情報誌 ● 接遇・広報・メンタルヘルスなど各種講習会 ● 資格取得・永年勤続記念品贈呈
- 海外研修 ● 会員交流事業(日帰り旅行など) ● 各種ローン

掛金 職員1人 10,000円/年 会員 社会福祉事業に携わる常勤役員・非常勤・嘱託職員・パート職員、法人の非常勤役員など

詳しくは…福祉振興課 経営支援担当 ☎055-254-8610